Twinkle 東京女子医科大学学術リポジトリ
Tokyo Women's Medical University - Information & Knowledge Database
https://twinkle.repo.nii.ac.jp

テュートリアル課題 ことばが出ない

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-10-23 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032574

2015年度　　Segment.6

課　題　　No.1

課題名：ことばが出ない

課題作成者：神経内科学　吉澤浩志
神経内科学　飯嶋　睦
神経内科学　北川一夫
解剖学　藤枝弘樹

東京女子医科大学
医学部学務課

無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意下さい。

課題シート

2015-S6-T1-1
ことばが出ない

シート1

吉田靖雄さんは62歳の男性。会社で会議中に、突然しゃべろうとしても言葉がでなくなりました。他の人の発言も理解できませんでした。また右手足の動かしにくさと、感覚の鈍さも自覚しました。15分後には、言葉の症状と手足の症状はなくなりました。

課題シート

2015-S6-T1-1
ことばが出ない

シート2

靖雄さんは以前から不整脈があり、循環器科から内服薬が処方されていましたが、最近忙しくて飲み忘れが多かったようです。心配となり、かかりつけの病院を受診しました。緊急で心電図と頭部CTの検査をすることになりました。

課題シート

2015-S6-T1-1
ことばが出ない

シート3

医師から「古い脳梗塞の跡があるだけで、新しい病変はないようです。薬をきちんと飲むように」といわれ、帰宅しました。翌朝6時に起床時に、再び、右手足の動かしにくさと、感覚の鈍さを認め、言葉がうまくしゃべれないことに気づきました。奥さんがしゃべっている言葉もわからないようです。しばらく様子を見ていましたが、症状が改善しないためかかりつけ病院に連絡したところ救急病院を受診するように言われ、救急外来を11時過ぎに受診しました。

課題シート

2015-S6-T1-1
ことばが出ない

シート4

受診時の血圧は150/86 mmHg 脈拍78/分 不整、神経所見は、右顔面を含む片麻痺、右感覚鈍麻、右上下肢の腱反射の亢進、右側のバビンスキー徴候、発話障害、言語理解障害を認めました。頭部CTの再検と頭部MRI, MRA、血液検査を施行後、すぐに点滴治療が開始されました。

課題シート

2015-S6-T1-1
ことばが出ない

シート5

嚥下に問題ないことが確認され、点滴治療から内服薬に変更されました。
主治医から再発予防の内服薬の説明をうけました。靖雄さんは納豆が好物なので、納豆を食べても良い薬にしてもらうことにしました。また脳梗塞を起こす可能性のある他の病気の治療や食事療法も必要だと言われました。右手足の運動麻痺と感覚鈍麻、言語症状は残存しているため、リハビリテーションを開始することになりました。